

営業所

- 北海道営業所 〒007-0804 北海道札幌市東区東苗穂四条3-4-12
[農機]TEL.011-781-2234
[産機]TEL.011-782-5294
- 東北営業所 〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号
[農機]TEL.0229-23-7210
[産機]TEL.0229-23-7219
- 新潟営業所 〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山1-5-30
[農機]TEL.025-287-1110
- 関東営業所 [農機]
〒302-0017 茨城県取手市桑原1424-1
TEL.0297-73-3530
[産機]
〒175-0094 東京都板橋区成増1-17-2
TEL.03-6904-3786
- 中部営業所 〒437-8601 静岡県袋井市山名町4-1
[農機]TEL.0538-43-2251
[産機]TEL.0538-42-3222
- 北陸営業所 〒920-0365 石川県金沢市神野町東52番地
[農機]TEL.076-249-6177
- 関西営業所 〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2-10-8
[農機]TEL.06-6432-7890
[産機]TEL.06-6432-7880
- 中四国営業所 〒700-0975 岡山県岡山市北区今2丁目8-12
[農機]TEL.086-244-4123
- 九州営業所 〒835-0004 福岡県みやま市瀬高町山門1841-1
[農機]TEL.0944-88-9793

営業部
 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300
 [農機]TEL.0538-23-2822
 [産機]TEL.0538-23-2825
 [海外]TEL.0538-23-3990

静岡製機株式会社
 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300
 TEL.0538-23-2000(代)
<https://www.shizuoka-seiki.co.jp/>

光風熱

静岡製機株式会社



FSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。

AW-2102-002000



飽くなきものづくりへの挑戦の1世紀。 光・風・熱の技術をさらに究め、独創の技術 でこれからも社会に貢献します。

静岡製機が誕生して100年余り。

人類史上、最も激動したといわれる時代。

何度となく襲いかかってくる荒波を乗り越えて、

一年一年 礎を築きながら、当社は今日を迎えました。

その原動力となったのは、

静岡製機の創業の製品である製蕨機をカタチにしようとした

ものづくりの「創意」と新しいテーマに「挑戦する心」です。

お客様の「こんな機械があったらいいのに」という声に正面から向き合い、

独自の技術と独創的アイデアで一歩先に進んだ製品を作り出す

ものづくりのマインドでした。

そして第二の創業の製品となった穀物乾燥機の生産により

得た「風」・「熱」の技術、

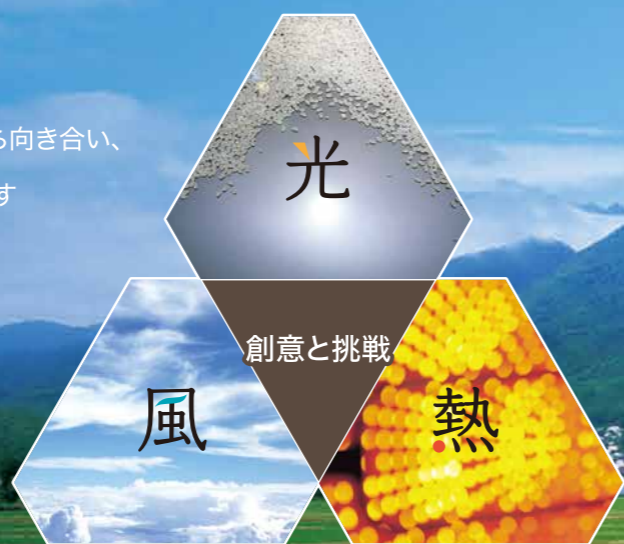
さらに穀物成分分析器で得た「光」の技術を加え、

「光・風・熱」をよりお客様の求めるカタチに具現化し、

これまでにない新しい機器を開発し続けています。

私たちは光・風・熱のコアな技術と挑戦的ものづくりのDNAで

これからも日本、そして世界の発展に貢献してまいります。



代表取締役社長
鈴木 直二郎

経営の目標

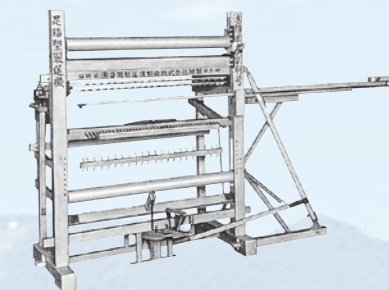
創意を发扬し社会に進歩と安定を

社員の行動指針

- 視野を世界に限りなく前進
- 常に研修、仕事に自信を
- 製品は最高に、会社に信用を

静岡製機100年の歩み

- 1914 大正3 鈴木貞三郎個人経営にて製蕨機の製造販売を始める(初代)
- 1938 昭和13 株式会社に組織を変更し、鈴木製蕨機製造株式会社と名称を改め、鈴木貞三郎社長に就任
- 1941 昭和16 同業3社を合併して資本金18万円で静岡製蕨機製造株式会社を設立
- 1952 昭和27 鈴木伊作社長に就任(第2代)
- 1953 昭和28 鈴木重夫社長に就任(第3代)
- 1958 昭和33 商号を静岡製機株式会社と改称
- 1968 昭和43 浅羽工場(磐田郡浅羽町諸井)完成
循環型乾燥機(送風圧送式)「SPD」発売
- 1975 昭和50 赤外線オイルヒーター「VAL6-I」発売
- 1976 昭和51 自動水分計(電気抵抗式)「コメットS」発売
- 1978 昭和53 本社ビル完成
- 1986 昭和61 技術センター完成
- 1993 平成5 農産物低温貯蔵庫「菜庫(さいこ)」発売
家庭用生ゴミ処理機「エコロンポ」発売
- 1994 平成6 鈴木重夫が会長に、鈴木直二郎が社長に就任(第4代)
- 1997 平成9 ISO9001 認証取得
- 1998 平成10 鈴木重夫会長、相談役に就任
「遠江工貿(大連保税)有限公司」開業
- 2001 平成13 ISO14001 認証取得
気化式冷風機「RKF400」発売
- 2005 平成17 「遠江工貿(大連保税)有限公司」を「大連静岡制機有限公司」に改称
- 2007 平成19 株式会社ブランエコ設立
- 2009 平成21 遠赤外線電気ヒーター「ホカotte」発売
- 2010 平成22 「SHIZUOKA SEIKI CANADA INC.」設立
- 2012 平成24 「静岡ハンソン株式会社」設立
- 2014 平成26 創業100周年を迎える
- 2016 平成28 「SHIZUOKA SEIKI AMERICAS INC.」設立
- 2021 令和3 本社移転、新本社ビル完成



1914年 製蕨機



1968年 循環型乾燥機SPD



2006年 遠赤外線乾燥機SAC(ドライゴン)

定評ある産業用機器に加え、 日本で培った農業支援の技術を世界へ

北米・アジアを中心に、世界各国で愛用されてきた静岡製機の製品。さらに近年では、40年以上にわたって主要な輸出品目だった産機分野製品に加えて、アジア圏への農業用機器の輸出が拡大しています。日本の食を支えてきた技術を、世界の食を支える技術に。静岡製機の新しいチャレンジが始まっています。





食と産業への貢献を通じて、身近な暮らしを支えています。

静岡製機のコア技術である「光・風・熱」は、まさに変幻自在のテクノロジー。農業機械分野では「豊かな食の実現」をテーマに、日本の農業に不可欠となった幅広い製品をラインナップ。一方の産業機器分野では、ヒーター・冷風機を中心とした製品を送り出し続けています。普段はなかなか目に触れにくくても、実は暮らしのすぐそばに寄り添っている。それが私たちシズオカの製品なのです。



開発からアフターサービスの一貫体制で「光・風・熱」の無限の可能性を引き出す

光
風
熱

主に、吸光度を測定する分析機に応用。穀物の出来具合や品質を数値化できるので、特に品種改良などの研究分野で活用されています。

乾燥機やヒーター、送風機など、応用分野の広い“風”の技術。効率を追求したシズオカの送風システムは、低騒音・省エネを実現します。

電気、石油燃料、ガス、そして穀物のモミガラなど、熱を生じ操る技術も当社の強み。排熱で発電する仕組みなど新たな挑戦も進んでいます。



農業機械

農業の「今」と「未来」に貢献

農家で使われる穀物乾燥機や貯蔵庫などの設備機器に加え、作物の成分を数値化して、よりよい農法の開発や品種改良を加速させる各種の測定分析装置を開発。ITやGPSなどの新技術の活用も進めています。



乾燥機
TCZシリーズ



貯蔵庫
GBXシリーズ



ライスセンター



色彩選別機
SCS32S



電気乾燥機
DSKシリーズ



食味分析計
SRE



穀粒判別器
ES-5

産業機械

働く環境と地球のために

パワフルで持ち運びができるシズオカの空調製品は、工場や屋外といった、本来空調が難しい環境で活躍してきた、長い歴史を持つ製品です。取り扱いやすさや環境負荷の低さなどの特性から、防災用品としても高い注目を集めています。



灯油ヒーター
VAL6SY



灯油ヒーター
HG30RS



遠赤外線電気ヒーター
WPS-20S



遠赤外線電気ヒーター(天吊)
WPS-30T



気化式冷風機
RKFシリーズ

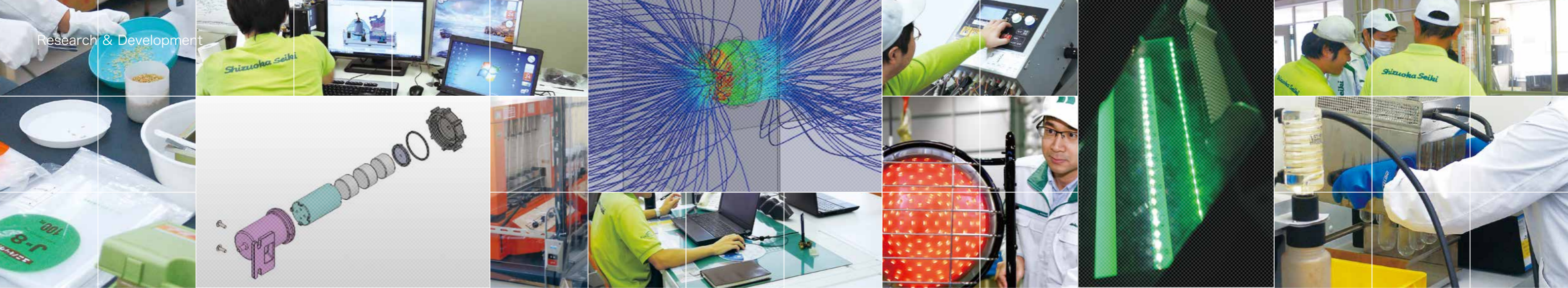


加湿機
HSE242



海外向けヒーター
EPX



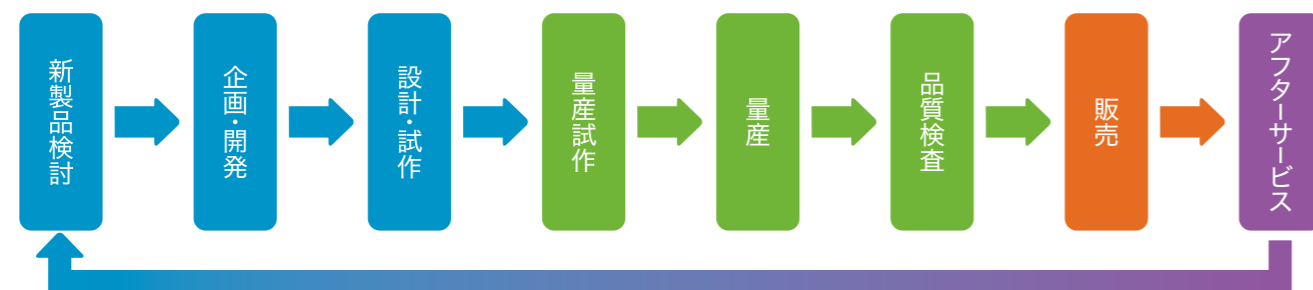


「光・風・熱」にまつわる独自技術の追求。 それがシズオカブランドの礎を築いています。

静岡製機は、「光・風・熱」に古くから注目し、コア技術として磨き上げるとともに、独自のアプローチによってさまざまな製品に結実させてきました。その一番の特徴は、それらコア技術を相互に活用し、全国から寄せられた市場の声と結び付ける研究・開発体制です。信頼の機械工学から先進の光エレクトロニクスに至る技術を駆使して、幅広い製品を生み出しています。

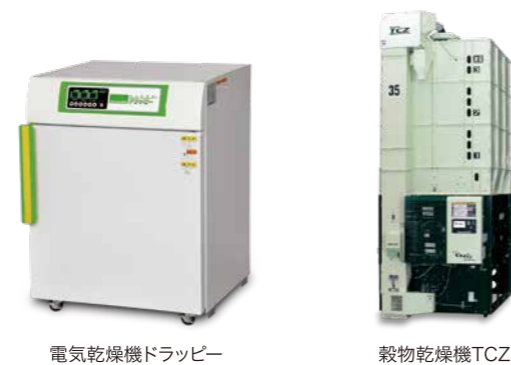
■ 全社一体のものづくり

お客様が求める機能・性能を正確に把握し、時代に先んじて市場に送り出すために。静岡製機では商品企画を担う営業部門から、設計製造を行う技術・製造部門、各プロセス間のチェック機構として働く品質保証部門など全社が一体となって製品を開発。このものづくりへの姿勢が、穀物乾燥機や業務用ヒーターの老舗メーカーとしてのシズオカと、米麦水分計のように先駆的な製品を送り出す独自のシズオカ、その両立を支えています。



■ 独自技術の応用で新たなマーケットへ

たとえば穀物乾燥機は、収穫直後に最適な乾燥を行うことでお米や麦の保存性を高める、当社の代表的な製品です。その技術を応用した電気乾燥機は対象を野菜や果物など幅広い食材に広げること成功し、新たな市場を開拓しています。



■ 産学共同で次世代農業に光を

農業研究の最先端を支える食味分析計や品質分析機の開発には、大学や研究所との連携が欠かせません。静岡製機は農業やバイオ産業の各分野で複数の研究機関と協業し、基礎研究からデータ取り、評価に至るまで密接に関わっています。



Research facility

先進技術を社内で磨く

独創のものづくりを支える、豊富な実験設備。大型の乾燥機にも対応した環境試験装置をはじめ、水分計や食味分析計など光エレクトロニクス機器の開発に欠かせない各種の実験機材を社内に用意。開発サイクルの大きな短縮とさらなる開発品質の向上に役立っています。



化学分析室

食味分析コーナー

環境試験装置

国内トップクラスの信頼と 小ロット・短納期を実現する生産現場

たとえ10,000台に1台の不具合だったとしても、そのお客様にとってはブランドの信頼に関わる大きな裏切りになる。200種類を超える製品を送り出す静岡製機では、自分たちの製品が背負う責任を共通意識として持つところからものづくりが始まります。そのため、豊富な社内研修を通じて製造担当者ひとりひとりの技能を磨くとともに、開発の早い段階から製造部門が参画し、たゆまぬ製品の品質向上を実現しています。

多品種・少量生産に特化した組立ライン

市場ニーズにきめ細かく応えるため、多品種小ロット生産への要望はますます高まっています。こうした状況に対応するため、当社では少量生産に適した加工機の採用と同時に少人数コンパクトライン化を推進しています。均一な部品生産とクラフトマンシップの融合により、小ロットながらスピーディーかつ高品質な生産を可能としています。



製品特徴に特化した作り込みで信頼確保

お客様のもとで長期間にわたり稼働することが求められる、シズオカ製品。その期待に応えるため、鋼板を高精度で曲げる高機能ベンディングマシンの導入、塗膜が強固な粉体塗装や製品精度を高めるワンサイドスポット溶接といった最適な工程を通じて、生産現場一丸となった高品質なものづくりに取り組んでいます。



粉体塗装



ワンサイドスポット



NCT

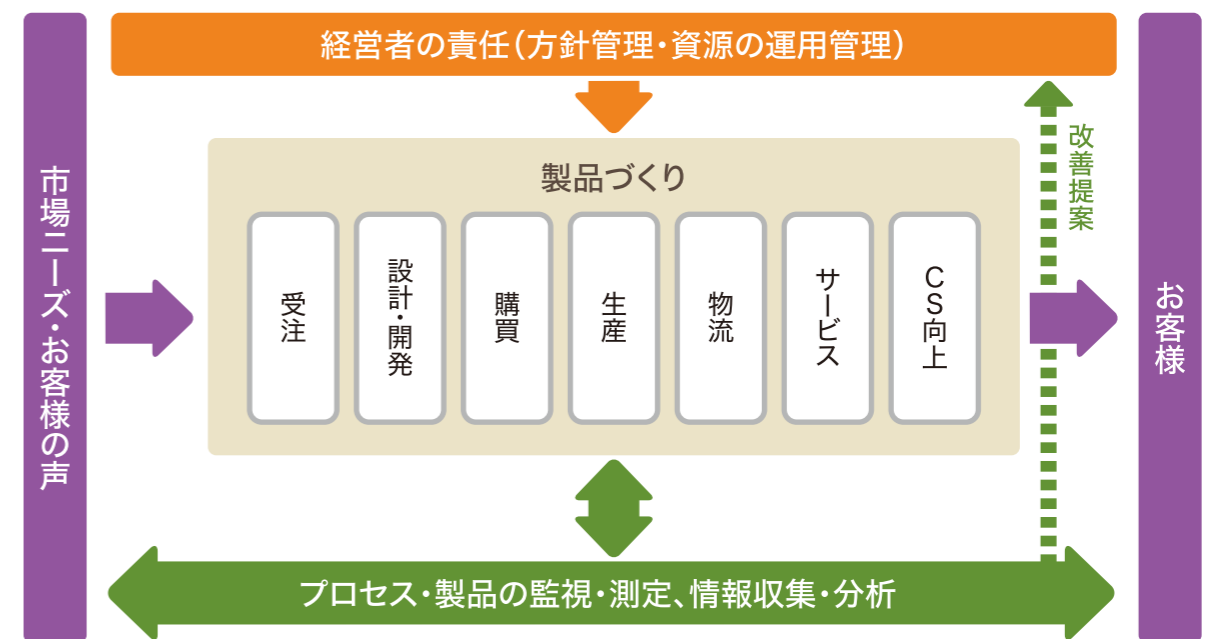
ものづくりの見張り番、品質保証

静岡製機の責任あるものづくりの中で、重要な役目を果たしているのが品質保証部門です。開発・製造・販売・アフターサービスの各プロセスを結び、製品のクオリティを効率的に高めていくプロセスマネジメントを行っています。新しい製品が生まれるまでの各段階で、当社の技術・知見と最新の市場の声を反映する仕組みが、優れた機能・品質を持つ製品を短時間でお客様の元へ送り届けます。



静岡製機のプロセスマネジメント

品質保証部門を設け、製品づくりからアフターサービスまで静岡製機の一貫体制を網羅。全社一体となった改善活動が、新たな信頼の歴史を築いていきます。



お客様の期待に、一步先で応える。 創意と挑戦を支えるお客様とのつながり。

静岡製機の社員の中で、一番お客様に近い営業スタッフは、最良の発明家になれる可能性も秘めています。静岡製機では、お客様の声に真摯に耳を傾け、その声から次の時代のニーズを見極めるマーケティング思想により、競争力ある製品づくりを実現してきました。私たちはこれからもお客様の期待をエネルギーに変え、魅力的な製品をお届けすることで、世界の食と暮らしの向上に貢献していきます。

お客様への影響を最小限に抑えるため アフターサービス体制を充実

自然が相手の農業では、機械の故障による1日の遅れが1年の苦勞を台無しにしてしまうこともあり得ます。そのため、当社では営業スタッフ全員に基本的なメンテナンスの知識を持たせているほか、全国の代理店への情報提供、サービス情報窓口の設置など、幾重にも渡るセーフティネットを構築。さらにシーズン前のメンテナンス、風水害発生時の全社を挙げた復旧支援を通じて、お手元のシズオカ製品の安定稼働をサポートしています。



世界35カ国に販売ネットワークを展開

製品特性による3つの分野できめ細かいサービスを展開

農業機械分野

少子化により農業の集約化が進む中、設備のさらなる効率アップや、現場の省力化を実現する機器への期待が高まっています。



産業機器分野

工場から土木や建設といった分野に加え、加湿器などの新しい製品の登場により、公共施設や病院など新たな分野でシズオカ製品が注目されつつあります。



海外市場

従来の北米・ヨーロッパ市場に加え、日本の農業技術の導入が進む東南アジアの穀倉地帯でシズオカ製品の活躍の場が広がっています。



今、静岡製機にできることを。地域社会とのつながり

地域に向けた社会貢献と、製品を通じた社会貢献。

静岡製機はこの2つのテーマを企業の責務ととらえ、省エネへの取り組みや環境負荷の低い工程・工法の開発などを通じて、次の100年も皆様に愛される企業を目指していきます。

安全安心な食を提供する 農産物直売所の運営



定期的な交流で相互理解を深め 地域に信頼される企業へ



粉体塗料のリサイクルによる 環境負荷低減

